

七尾中の皆様へ



スクールカウンセラーだより



朝晩すっかり涼しくなりました。充実した学校生活を送るために心や体は整っているでしょうか。

さて、皆さんは「帰属のエラー」という言葉をご存じでしょうか？ 帰属というのは、物事が起こった時に、原因がどこにあったかを追究することで、エラーはその間違いということです。皆さんもこんな経験はありませんか？

ほかの人が、人を見間違えると、「見間違えるなんて不注意だ」と考えるのに、自分が同じように人を見間違えた時は「あんまり似ていたから間違えたんだ」と言う。

誰かと組んで行った試合や仕事で、勝った（うまくいった）時は、「自分に力があつたからだ」と考え、負けた（うまくいかなかった）時は「パートナーのミスのおかげだ」と考えてしまう。

帰属のエラー

乗り物の中で、お年寄りに席を譲らない若者を見ると、「なんと不親切な奴だ。」と考える。実は、その若者には、外見からはわからない病気があって、立っているのがつらいという事情があつたかもしれないのに。

他の人の身に起こった事故や災難を、事実がはっきりしなくてもその人の責任にする。被害者に全く何の罪もない場合でも何か少しは落ち度があつたのではないかと考えてしまう。

「帰属のエラー」におちいった時、他の人を正しく理解せず、普段の行動や見かけなどでかたよった判断をしてしまいます。また多くの人判断したことが、正しいことになってしまう場合もあります。友達関係でもそうです。決めつけてけんかしたりする前に、いろいろな角度から見てあげることが大切ではないでしょうか。

保護者の皆様で

気になることがある方は遠慮なく学校にご連絡ください。 53-7705 (担当：石田先生)

きりとり

相談申込 年 組 生徒名

希望時間 曜日の 時頃